

令和5年度 第4回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和6年1月24日(水) 15:00 ~ 16:34

会議方法 Google Meet によるオンライン会議

出席者 (学外) 占部, 江崎, 中島, 林田, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 河田, 原田, 山口, 小嶋, 藪田, 坂本, 武中の各委員

陪席者 田中監事, 山根副学長, 後藤副学長, 岡田副学長, 川村副学長,
香川副学長, 岸本地域学部長, 坂口工学部長, 明石農学部長

議事要旨の承認

前回(令和5年11月20日開催, 令和5年度第3回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 第4期中期目標・中期計画の変更について

資料1に基づき, 第4期中期目標・中期計画のうち, 「評価指標におけるロボット手術件数」及び「学部, 研究科等及び収容定員」等に関する変更について説明があり, 審議の結果承認した。

— 学外委員からの主な発言 —

◇ 委員より, 医学部医学科地域枠の現状について質問があり, 毎年地域枠の数はかなり厳しく精査されており, 鳥取県は医師多数県に分類されるため, 来年同様に認められるか厳しい状況にあるが, 本学の医学部医学科は基準の定員が全国でも一番少なく, 例えば特定診療科の数を見込み, 必要とする理由を明確にするなどし, これまでどおりの定員を確保できるようにしたい旨回答があった。

2. 大学経営戦略室の設置(案)について

資料2に基づき, 大学経営戦略室の設置(案)について設置目的や機能強化のポイント等について説明があり, 審議の結果承認した。

3. 令和5年度第2次学内補正予算(案)

資料3に基づき, 令和5年度第2次学内補正予算(案)について説明があり, 審議の結果承認した。

報 告

1. 鳥取大学附属病院再整備について

資料4に基づき, 鳥取大学附属病院再整備について, これまでの経緯やキャッ

チフリーズ・コンセプト，公園使用の要望や共創拠点の考え方について報告があった。

— 学外委員からの主な発言 —

- ◇ 委員より，近年の傾向として住民の意見の尊重が大事になってきており，理解を得るための丁寧な説明が必要であるとの意見があった。
- ◇ 委員より，米子市の将来，大学の未来を考え，長期的なビジョンに立ち，日本の中でも先進的な病院をつくり上げようとしていることを，メディア等と協力し，より効果的に伝えていくことも市民の理解を得やすくなるのではないかと意見があった。
- ◇ 委員より，市民の理解を得るために医学教育や最先端の医療機器を含めた治療内容をしっかり広報して，市民側の利益を伝えることも大事である。米子市との連携している健康寿命の延伸等，市の機能をしっかり支え，鳥取県の健康文化の水準の向上に繋がるようにしてほしいとの意見があった。
- ◇ 委員より，鳥取の地で，新しい文化，新しい病院，新しい生活共同圏を，地元の力，若い人たちの力，女性の力を交え創り上げてほしいとの意見があった。

これらの意見に対し，丁寧に時間をかけ説明し理解を得ていきたいとの説明があった。

- ◇ 委員より，学部の建物の改修計画について質問があり，これに対し，病院は自己資金で建て替えを計画的にできるが，学部の建物の老朽化に関しては全国的な問題であり今すぐにとするのは難しいこと，長寿命化と併せて教育環境の整備に努めていきたい旨回答があった。

2. 鳥取大学職員給与規程等の一部改正について

資料5に基づき，令和5年度第2回経営協議会において審議した令和5年人事院勧告に係る本学の対応方針に則り，鳥取大学職員給与規程等の一部改正を行うことについて報告があった。

3. 令和6年度運営費交付金予定額の概要

資料6に基づき，文部科学省から示された令和6年度運営費交付金予定額の概要について報告があった。

— 学外委員からの主な発言 —

- ◇ 委員より，経営改革について辛口の査定を受けるようであるが，努力によって改善される余地もあるため，大学全体として努力してほしいとの意見があった。これに対し対応策を練り次年度に向けて改善していきたい旨回答があった。

4. 令和4年度財務レポート

資料7に基づき、令和4年事業年度の財務レポート<プレミアム>の作成について報告を行った。

5. 白浜（一）宿舎等の売却結果について

資料8に基づき、白浜（一）宿舎の売却結果について報告があった。

討 議

1. 鳥取大学の魅力とその発信について

資料9に基づき、鳥取大学における広報活動の主な取組みについて説明があり、説明後、各委員との意見交換が行われた。

— 学外委員からの主な発言 —

- ◇ 委員より、地域にある大学として、もう少し直接的に地元の高校生にアタックし、地元の大学で夢が持てるような取組があるとよいとの発言があった。これに関し、高校の探求学習へ本学教員が参画し、受験時に本学を選ぶ学生も増えてきていることから、同様の取組を他の高校にも広げていきたいこと、また高校だけでなく、県とも協力し企業にも取組を広げ、色々な媒体で地域の中に拡散していきたいとの説明があった。
- ◇ 委員より、手ごたえ（特に受験生）を把握するための工夫はあるかとの質問があり、これに関し、受験倍率が上がるなどすればよいがどれが効果を持っているかわかりにくく苦慮しているとの回答があった。あわせて、取組方法として大人の目線で考えるのではなく、若い人が求める情報発信を考えているとの発言があった。
- ◇ 委員より、受験生だけでなく、在学生やその家族、卒業生、地域住民、高校教員が鳥大に対してどう思っているか、データをしっかり分析した上で、今やっている広報が的を射ているかわかっていないと、広告媒体についても定められないのではないかとの意見があった。また、鳥取大学でしか学べないこと、鳥取大学の強みをメリハリをつけて強調すること、卒業後どこへ就職ができるか、どういう者になれるか実績に触れることで、これから学生が減っていく中、地方の国立大学として選んでもらえるよう、他の大学に先駆けて違う手が打てるのではないかとの意見があった。これに関し、いただいたご意見を基にどのような手を打てるか考えていきたいとの発言があった。

本件については時間の都合上討議を打ち切ったが、引き続き第5回経営協議会でも討議を行うこととした。

その他

資料10に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料11に基づき、令和5年度第5回経営協議会を3月21日開催予定である旨説明があった。